

門 4
181
卷 2

東京大学
学術図書

五
149
2

舍密局必携卷二 前篇

長哥 上野彦彦馬



無機性舍密篇 非金屬部

攝列紐母第十六章 [攝列親衡] 四〇

嘗テ別爾攝留私氏千八百十七年厄利布曹耳謨地名
ノ硫酸製煉局ニ於テ、硫酸泥ヨリ偶然發明シタル
者ナリ、能ク硫黄ニ親和シ易シ、天然特生ノ者ナシ
鉛。瀕。箇。拔。爾。多。銅。及。ビ。銅。幾。斯。鐵。幾。斯。ニ。和。シ。テ。産。ス。

舍密局必携 卷二

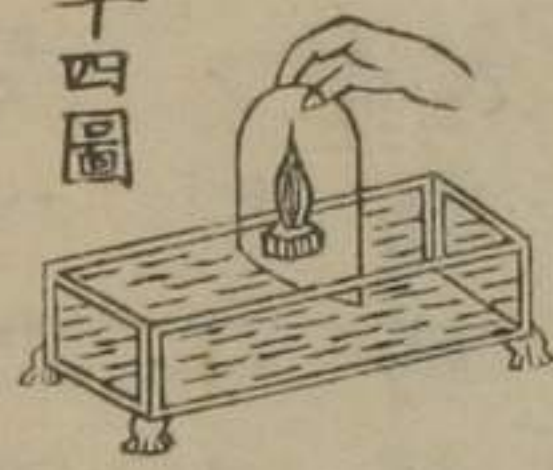
稟性 通例鉛白色ノ塊ニシテ、稍、金属ノ光暉アリ、
 又粒様ノ結晶ニシテ、破碎スレバ玻璃ノ如シ、細末
 シ或ハ溶解シテ得タル者ハ、紅色ノ末トナル、色味
 共ニナシ、水ニ溶ケズ、少シク亜耳固爾及ビ依的爾
 ニ溶解ス、二百度ノ熱ニ熔化シ、七百度ニ沸騰ス、其
 烟黄色、大氣ニ接スル寸ハ、青色様ノ炎ヲ以テ熱ヘ、
 無色瓦斯トナル者ハ、酸化攝列紐母、固形ニ變スル
 者ハ、攝列紐母亜酸ナリ○硫酸ニ溶解スル寸ハ緑
 色トナリ、水ヲ和スル寸ハ復、游離ス、
 製煉 ブロインステーン 酸化滿俺ト攝列紐母ヲ含メル硫黄トヲ煨

キ、或ハ亜硫酸ヲ以テ、攝列紐母酸曹達ノ溶液ニ和
 シテ製煉ス○酸素ト親和ノ経階三種、酸化攝列紐
 母攝列紐母亜酸阿攝及ビ攝列紐母酸攝
 窒素第十七章 〔暱〕親衛 一四
スチツキストフ アソチユム サルパーテルストフ 〇、九七二
 大氣ノ大成分ヲナシ、又少シク山物ニ混シ産ス、而
 シテ動物植物ニ於テモ、固有ノ成分タリ、
 稟性 此瓦斯ハ臭味色共ニナシ、燭火ヲ吹滅シ、嘘
 翳ヲ窒塞ス、少シク水ニ溶解ス、良ク植物ノ長育ヲ
 佐ク、

窒素ヲ得ル法

大氣ヨリ分離スル法最モ簡ナリ、第十四圖ノ如ク、一片ノ幾耳古^{キル}壺^コノ栓^コニ水槽ノ水上ニ置キ、此上ニ亜耳固^{アル}爾^コヲ以テ濕シタル綿布或ハ一片ノ燐ト共ニ、蠟燭火ヲ建テ、是ニ大氣ヲ充タル玻璃鐘ヲ覆ヒ、稍水面ノ下ニ保持ス、爰ニ於テ、鐘内ニ現在セル大氣ノ酸素ハ焚消シ、氣容漸ク縮小シテ、水槽ノ水、鐘内ニ昇ル、此瓦斯ハ即チ窒素ナリ、如斯シテ得ルトコロノ者ハ、精潔ナラズ、少許ノ酸素、炭酸、亜燐酸ヲ蘊藏ス、

第十四圖



又法

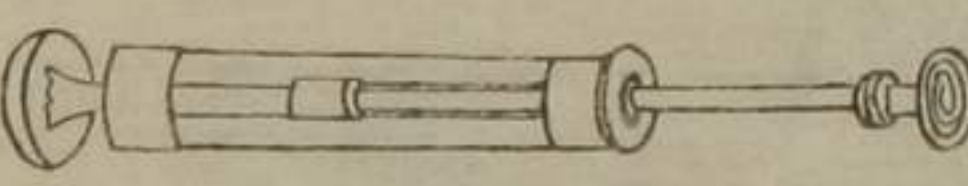
純體ノ者ヲ得ント欲セバ、十七圖ノ如ク、第一格耳弗^コイ^フニ過酸酸化満俺ト、格羅耳水素酸ヲ充テ温メ、格羅耳瓦斯ヲ發セシム、而シテ是ヲ第二ノ格耳弗^コロ^フニ導ク、此内ニハ預メ^ア諸^モ摸^ニ屈^アヲ容レ置クベシ、爰ニ於テ窒素ヲ分離シ、^ハ管ヲ通過シテ出ヅ、尋常ノ法ヲ以テ聚メ貯ベシ、
○此理左ノ如シ

四曜喜三十三格羅 || 三曜喜三十格羅 喜十曜

又法

亞硝酸諸摸屈亞塩ヲ燒燬シテ得、
大氣ハ調和物ニテ、七十九容、即チ七十七分

第五十圖



量ノ窒素瓦斯ト、二十一容、即二十三分量ノ酸素
 瓦斯ヨリナル、少シク水蒸氣、諸模屋垂及ビ炭酸
 瓦斯ヲ交ユ○此者、大夕彈力アリ第十五圖ノ如
 久、玻璃管ニ太氣ヲ填テ、「ソイゲル」ヲ以テ緊シク壓
 搾スル寸ハ、大氣ハ形ヲ聚縮シ、此際大ニ
 熱ヲ發ス、若シ一片ノ可熱物ヲ「ソイゲル」ノ
 下ニ置キ、剝搾スル寸ハ、殆ト炎ヲ發スル
 ガ如キニ到ル、爾他ノ瓦斯類モ、又皆夕彈
 カヲ備フ、
 大氣ノ量ヲ秤測スル法、第二章ニ審ナリ、而シテ

太氣ノ量ハ、晴雨昇降器ノ原因タリ○博物家採
 用ノ品ハ、其種屬太夕多シ、今其一ヲ贅シテ其理
 ヲ説ク、第十六圖ハ歌勿耳晴雨昇降器ニシテ、玻
 璃管ヲ撓曲シ、一端ハ長ク一端ハ短シ、而シテ其
 長端ヲ閉テ短端ヲ開ク、**イ**ハ瀕ヲ填テタル部、**ロ**
 ハ真空ノ部、管内瀕柱ノ高サハ、海面巴黎佛朗
 名式ノ二十八拇ニシテ、即チ七百六十密爾里西府的
 耳第十一章ニ而シテ我地球ヲ抱圍スル、大氣ノ高
 第十六圖
 サト平衡ス、水ヲ以テ此理ヲ審ニスルニ、瀕ノ異



重力章第二 八水ノ異重力ヨリモ、其重キ₇十三倍半、此故ニ水柱ハ瀕柱ヨリ高キ₇十三倍半ニシテ、大率三十三弗多ナリ○高サ七百六十密爾里米₇的耳ノ瀕柱ノ壓力ハ、大氣ノ壓力ト同一ナリ、是ヲ亞篤莫私勿₇而ト名ク、故ニ大氣ニ變アリテ、稀薄トナル寸ハ、其重力從テ減シ、ハヨリ瀕ヲ壓スノ力又衰フ、故ニ瀕ハ重力ヲ縱ニシテ少シク降ル、則風雨ノ微ナリ、大氣稠密ナル寸ハ、瀕昇テ宇晴ヲ徵ス、

窒素ノ酸化経階

亜酸化窒素 <small>暹阿</small>	十四分ノ窒素	八分ノ酸素
酸化窒素 <small>硝石 暹阿ニ</small>	同	十六分ノ酸素
亜硝酸 <small>暹阿三</small>	同	二十四分ノ酸素
次硝酸 <small>暹阿四</small>	同	三十二分ノ酸素
硝酸 <small>暹阿五</small>	同	四十分ノ酸素

稀硝酸ニ、精錳ヲ溶解スル寸ハ、純粹ノ者ヲ發ス、聚メ貯ベシ、

酸化窒素 尋常ノ硝酸ニ銅ヲ溶ス寸ハ、此瓦斯ヲ發ス

亜硝酸 一名發烟消石精、精製ノ硝酸剥篤亞

斯硝石五分ヲ細末シ、醇厚ノ硫酸四分ヲ注キ乾餾ス、○又法、酸化窒素四容ト、酸素一容ヲ和スル寸ハ、黒赤色ノ瓦斯ヲ得、即チ亜硝酸ナリ、

次硝酸 水分ナキ硝酸酸化鉛ヲ、燒器ノ列寫ル多ニ容レ、乾餾スル寸ハ、酸化鉛ヲ残余シ、次硝酸ヲ發ス、

硝酸 含水ノ者アリ、否ラザル者アリ、乙種ハ硝酸酸化銀ト、乾燥格羅耳瓦斯トヲ以テ製ス、方稜針形白色ノ結晶ナリ、甲種ハ普通ノ硝酸ニシテ、蒸硝酸加里硝石或ハ硝酸曹達ソダニ、醇厚ノ硫酸ヲ注キ乾

餾ス、其分量、一親和平衡力ノ消石ニ、二親和平衡力ノ硫酸ヲ以テス、異重力一、二○又法精製硝酸加里百分、醇厚硫酸度ノ者六十十分ヲ注キ、乾餾スル寸ハ、百分ノ硝酸ヲ得○又法硝石三十分、硫酸二十九分ヲ以テス○稀硝酸製法ハ、硝酸加里。餾水。各五分ニ、硫酸四分ヲ加ヘ餾ス○又亜硝酸ヲ蒸發シテ、硝酸ヲ得ル、

性質 潔白清澄、皮膚ニ着ケバ痕ヲナス、水ヲ和シテ少シク熱ヲ發ス、光線ニ依テ酸素分離ス、宜ク暗處ニ貯ヘシ、金屬溶解劑ノ技群トス、

格羅耳第十八章

〔格羅〕親衡 二 三五、五
異重 二 二、四五

〔按〕從來蘇魯林ト譯ス者、

特生純體ノ者ナシ、多クハ曹曾母ト親和シ、又ハ少シク他ノ金屬及ビ水素ト和シテ産ス、

稟性

綠黄色ノ瓦斯、臭氣窒塞味苛烈、少シク鹽翁

スル寸ハ噴嗽ヲ起シ、大ニ鹽翁スル寸ハ頓死ス、製

煉ノ際、最モ注意スベシ、亞爾固耳ヲ鼻ニ塗リ、或ハ

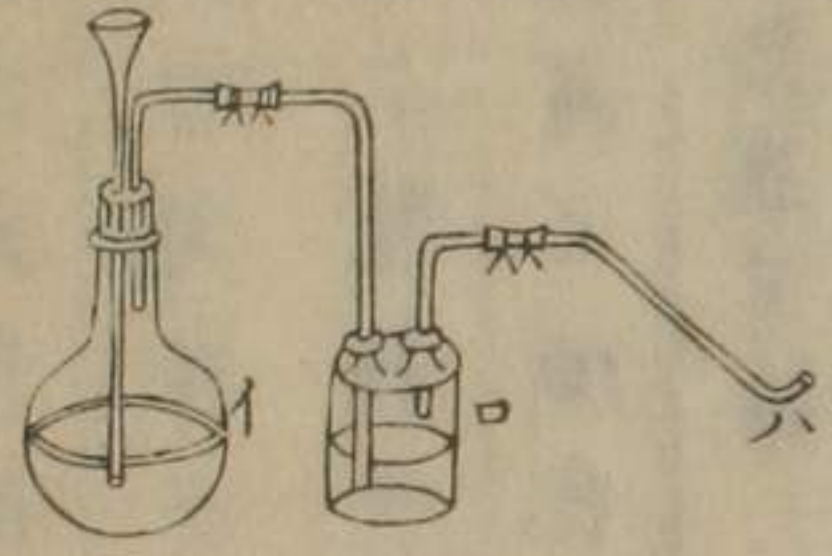
安摸丘亞ヲ薰シテ從夏ス○良ク水ニ溶解ス、而シ

テ此水、瓦斯体ノ格羅耳ト同質ナリ、

製法

一分ノ過酸酸化滿掩ニ、六分ノ鹽酸ヲ注キ、

第十七圖



第十七圖ノ裝置ヲ以テス、滿掩ニ代用シテ、酸化
此瓦斯ハ水ニ溶解シ、鉛ヲ標用スルヲアリ、○又法二分ノ過
酸酸化滿掩、六分ノ格羅耳水素酸尋常ノ鹽酸ニシテ、格羅耳水素ニシ
スル者ナリ、ニ二分ノ硫酸ヲ以テスル寸ハ、格羅耳水素ニシテ、鹽酸中
ニ現在セル、全格羅耳ヲ分離シ、硫酸亞酸化滿掩ヲ
列篤爾多ニ殘ス○又法食塩ヨリ製
スル寸ハ、二分ノ食塩、二分ノ酸化滿
掩ニ、四分ノ水ヲ和シタル稀硫酸、七
分半ヲ注キ製ス、

格羅耳水製法 格羅耳瓦斯ヲ製スルト同轍、唯其
 瓦斯ヲ壘中ノ水ニ通過シ、飽充セシムルノミ、第十
 八圖ノ装置ヲ以テス、

格羅耳ノ酸化經階	格羅阿
次亞格羅耳酸	格羅阿二
中和亞酸化格羅耳酸	格羅阿三
亞酸化格羅耳酸	格羅阿四
次酸化格羅耳酸	格羅阿五
格魯々格羅耳酸	格羅阿六
格羅耳酸	格羅阿七

格羅耳過酸化格羅耳酸 格羅三阿十七
 過酸化格羅耳酸 格羅阿七

次^オ亞^ド格^ロ羅^リ耳^シ酸^ル 酸化頃ヲ燦化シ、此器内ニ格羅
 耳瓦斯ヲ通シ製ス、塩酸頃ヲ此列篤爾多ニ殘ス、
 喜義阿十二格羅 || 喜義格羅十格羅阿
 此者塩基ト親和シテ塩類トナル、良ク植物ヲ晒
 白スルノ性アルガユヘ、晒白塩ノ名アリ○此塩
 ノ製法ハ亞爾加里ノ稀溶液ニ、格羅耳瓦斯ヲ通
 シ、其亞爾加里ヲ結晶セシム、熱ヲ與フハ他
 亞酸化格羅耳酸 亞砒酸(亞)攝阿三ヲ格羅耳酸

格羅阿五ニ和シテ、瓦斯ヲ發セシムレバ、亜酸化
格羅耳酸トナル、又亜砒酸ハ、酸素ヲ得テ砒酸ト
ナル、

格羅阿五⁺亞攝阿三^{||}格羅阿三⁺亞攝阿五

格羅耳酸

此酸、醇厚ノ景狀ニ於テハ、黄色酸味
ノ流動物ナリ、臭氣竇透、一片ノ紙ヲ此酸ニ投ス
ル寸ハ、大氣内ニ於テ自ラ焚起ス、又消石ヲ塗レ
ル紙ヲ同上ノ如クスレハ、焚燒ノ際、爆鳴ス、又烈
性ノ亞爾箇耳ヲ觸ル、寸モ焚起ス、而シテ醋化
依的兒ト醋酸ニ變ス○此酸ノ加里ト親和シタ

ル塩類ハ、軍用火具局ノ須要材ナリ、

製法

格羅耳酸重土ニ、硫酸ヲ注キ、尋常ノ法ヲ

以テ得○格羅耳酸重土ノ製煉ハ、格羅耳酸亞爾
加里塩ト同轍ナリ、

按諸書塩酸重土^{格羅}按ヲ説テ、格羅耳酸重土

格羅阿五[。]按阿ヲ云ハズ、故ニ効用製煉詳ナラ

ズ、然レモ格羅耳酸剝篤亞斯ト、同轍ナルヲ

示セリ、宜ク剝篤亞史母ノ章ニ、參考スベシ、^中

今此理ニヨリ格羅耳酸ノ製煉ヲ詳ニスルニ、^篇

格羅耳酸重土ハ、其親衡力^{格羅}阿五[。]按阿ニシ

テ、是ニ硫酸須阿三ヲ和シ乾餾スル寸ハ、格羅耳酸格羅阿五游離シ、硫酸重土須阿三拔阿トナルナリ、又格羅耳ノ剝篤亞斯ニ和シテ、格羅耳酸剝篤亞斯トナリ、格羅耳剝篤亞斯母トナルノ理、又剝篤亞斯母ノ章ニ審ナリ、

格羅耳酸塩類

格羅耳酸ハ、塩基ト親和シテ、格

羅耳酸塩トナル、此者ヲ熱スル寸ハ、純粹ノ酸素ヲ發ス、隣金屬ノ者硃黃木炭等ニ和シテ、擦磨シ或ハ緊擊スル寸ハ、俄ニ焚起ス、

過酸格羅耳酸

格羅耳酸ヲ微火ニテ温メ得、又

格羅耳酸剝篤亞斯ニ硫酸ヲ注キ得、此酸水分ナキ寸ハ結晶ス、

塩酸稟性及ヒ製法

格羅耳ハ水素ト和スル

二様ナリ、單ニ水素ト和スル者、是ヲ塩酸瓦斯ウァーテルストフガス格羅喜ト云、第二種ハ水素百而格羅耳ウァーテルストフセル格羅喜ト云、而シテ此者ハ、過酸酸化鉛ト、格羅耳水素酸ヲ以テ、親和セシメタル者ナリ、○塩酸ハ格羅耳水素瓦斯ノ水ニ溶解シタル者ニシテ、絶テ酸素ヲ含ムナシ、水素異重力一、二一トス、英硫酸ヲ注ク寸ハ、格羅耳水素瓦斯ヲ發ス、消酸ヲ和

卷二

スル寸ハ玉水トナル○塩酸製法ハ格羅耳金屬五分ニ、硫酸四分、水二分ヲ和メ火ヲ裝シ、瓦斯ヲ水ニ和ス、其裝置第十八圖ト同シ、又食塩ニ硫酸及ヒ水ヲ注キテ餾シ、芒硝ヲ製スル寸、此酸ヲ得是ヲ粗製塩酸ト云、

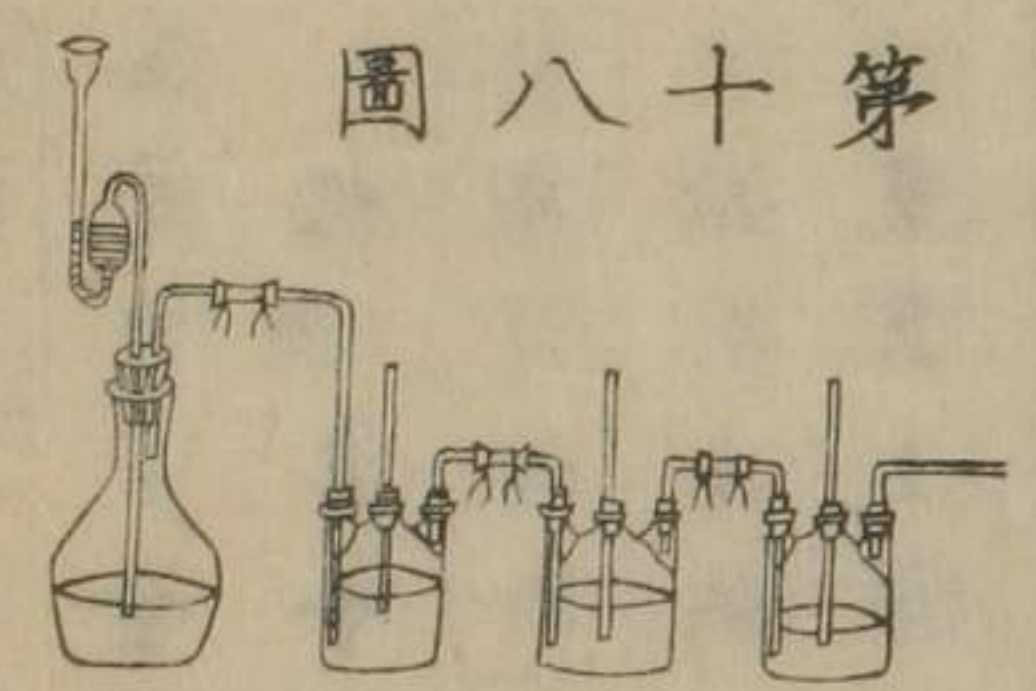
又法 小量ニ製スル寸ハ、第十九圖ノ裝置ヲナス、**ハ**ハ清水ヲ填テ**イ**ノ列篤トル多トニハ食塩三分ヲ容レ、其厚硫酸五分ニ、水一分ヲ加ヘタル者ヲ注キ、徐々ニ温メテ瓦斯ヲ發セシム、**ロ**ノ受器ハ、出ル所ノ瓦斯ニ抱合スル、汚物ヲ除カンタ

舍密局必集

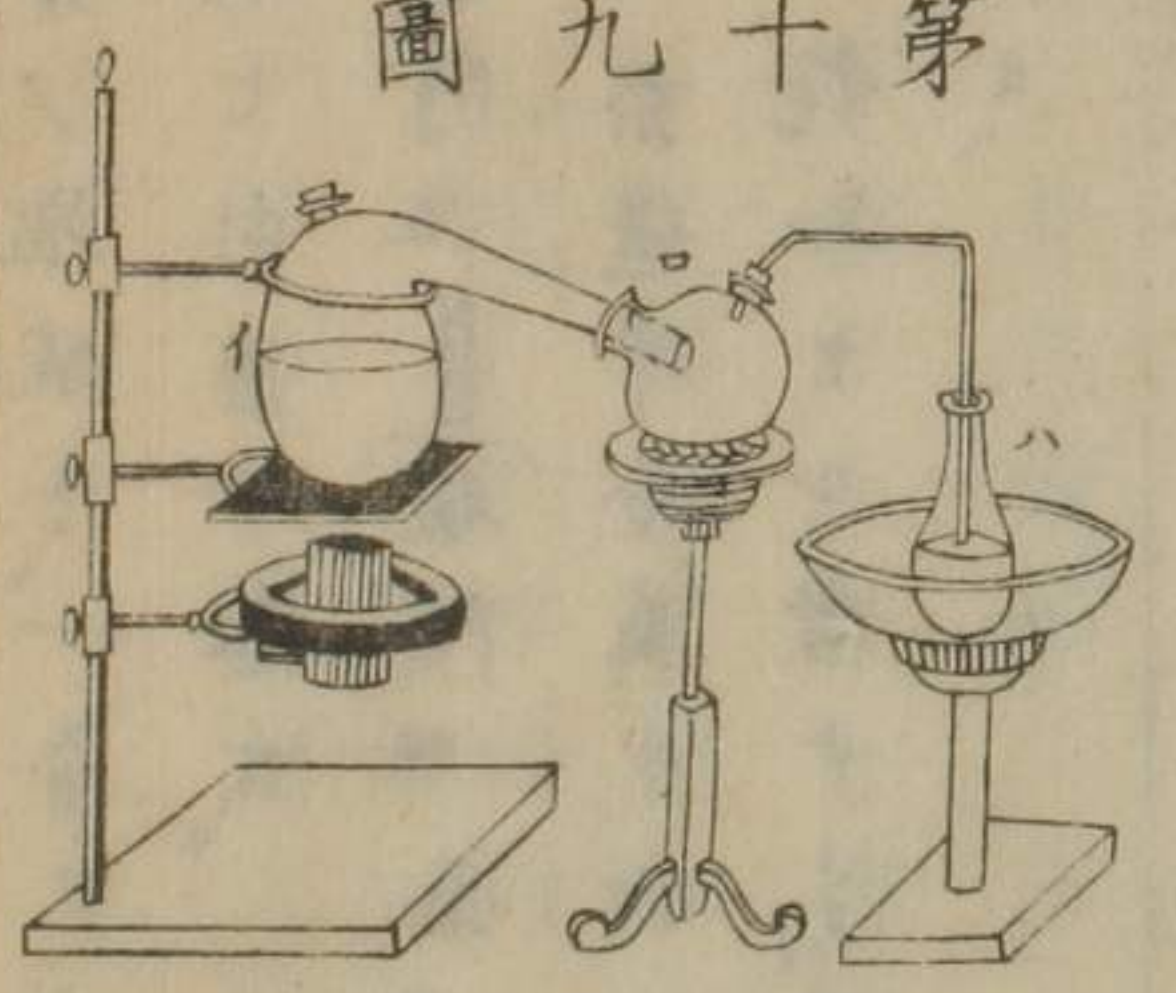
卷二

十一

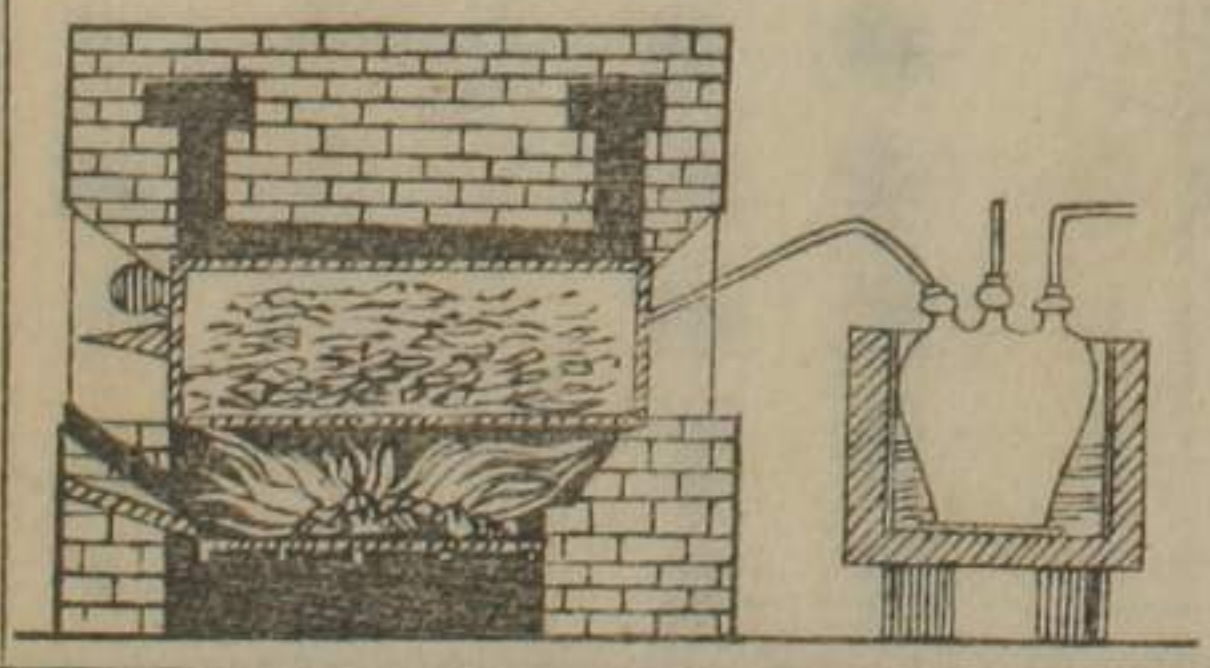
圖八十第



圖九十第



圖十二第



メナリ○大量ニ製スル寸ハ、第二十圖ノ如ク、鑄鐵ヲ以テ製シタル器ニテ裝置ス○舍密親和ノ理左ノ如ク、重複カヨルル硫酸曹達ト、格羅耳水素ヲナス、那格羅十二喜阿須阿三||那阿喜阿二須阿三||喜格羅

王水

二分ノ塩酸ト、一分ノ消酸ヲ調勻シタル者、良ク金及ヒ白金ヲ溶ス、

格羅喜十曜阿五 || 曜阿四格羅喜阿

格羅耳親和

格羅耳金屬ト云ハ、格羅耳水素酸ノ酸化金屬ニ親和セル者ナリ、此他硫黃炭素及ビ窒素ト親和ス、

須ニ格羅 硫化格魯留烏爾

須 格羅 硫化格魯留烏爾

須ニ格羅 硫化攝私哈格魯留烏爾

格羅加勃 炭素格魯留烏爾

格羅加勃 炭素格魯留烏爾

格羅加勃 炭素百而格魯留烏爾

格羅加勃 炭素百而格魯留烏爾

曜 格羅 炭化窒素

炭素百而格羅耳稟性及ビ製法 ○ 蓆酸ト大率同

性、故ニ醫藥ニ供ス ○ 製法、油様ノ瓦斯ニ炭酸ヲ

液ナ水ヲ加ヘ、格羅耳ヲ通シテ得 ○ 白色ノ結晶、

無味羯布羅ノ香氣アリ、

呵囉方 屬ス 無色澄瑩ノ液ニシテ、異重力ハ

四八、依的兒ノ香氣アリ、水ニ溶ケズ、重爾固耳及

ヒ依的兒ニ能ク溶解ス、焚燒スルナシ ○ 製法

ハ、次重格羅耳酸加爾基 鹽酸加一分、水三分、及ビ

重爾固耳八分一ヲ加ヘ蒸餾ス ○ 專ラ麻酔劑ニ

採用ス、又仮漆ニ供スルナリ、
耳母ト訳ス

本草綱目卷之二十一 雜考 卷二十一

按此劑又攝影術ニ用ユ其法沃陳劑ヲ和シタル格魯細穂ニ少許ヲ滴スル寸ハ大ニ其撮影ヲ促スト云來舶ノ佛人魯支英ノ説

蒲羅密烏母第十九章 蒲羅親衡 八〇、〇 異重 二、九六

海水ニ親和シ、麻侶涅叟母及ビ曹曹母ト共ニ産ス、又海草海獸等ニ抱合ス、

稟性 尋常ノ暖度ニ流動ス、赤茶色。味苛烈、臭氣劇烈ニシテ快カラズ、大率格羅耳ニ類ス、格羅耳ニ比

スレバ、水ニ溶解スルコト少シ、依的耳。亞爾箇耳ニ能溶解ス、水点以下十八度ニ在テハ、片葉狀ニ變ス、色

ヲ消褪スル等。格羅耳ト同シ、然レハ皮膚ニ觸レバ褐色ニ竄蝕ス、

製法 蒲羅密烏母ヲ含メル液 野塩罐ニ殘ル者又ハ生曹達ノ母液

ニ、格羅耳瓦斯ヲ通シ、格羅耳金屬トナセバ、蒲羅密烏母ハ游離スヘシ、是ニ依的耳ヲ加フル寸ハ、是ヲ溶解シ、茶黄色ノ界段ヲナシテ液上ニ浮ブ、是ヲ掬テ剝篤亞斯ヲ和スレバ、蒲羅密烏母酸剝篤亞斯、及ビ蒲羅母剝篤亞叟母トナル、爾後蒸發乾燥シ、燦化シテ、蒲羅密烏母酸塩ヲ、蒲羅密烏母酸金屬ニ變ゼシム、而シテ此乾燥材ニ、硫酸ト過酸酸化満掩ヲ加

ヘテ餹ス、得ルトコロノ親和左ノ如シ、

蒲羅麻^屈 十滿河^三 十二須阿^三 麻^屈 阿、須阿^{三十}

滿阿須阿^{三十} 蒲羅

茲ニ於テ蒲羅密烏母ハ、瓦斯赫トナリ發ス、是ヲ冷
鉢中ノ受器ニ受ク、此受器内ニハ、少許ノ醇厚硫酸
ヲ容レ置ク○蒲羅密烏母ハ、異重力硫酸ヨリ重キ
ガユヘ、硫酸ノ下ニ沈降ス、是レ蒲羅密烏母ノ發烟
ヲ防グガタメナリ、

蒲羅密烏母酸

酸化經階纒ニ蒲羅密烏母酸蒲

羅阿^五ノミナリ、其製法ハ、硫酸ヲ蒲羅密烏母酸

重土ニ注キ、其澄ヲ貯フ、此者格羅耳酸ノ編成ト
必似ス○蒲羅密烏母酸塩類ヲ、可蕪物ト共ニ摩
擦スル寸ハ、自ラ焚起ス○又法、近世ハ蒲羅密烏
母ヲ含ル者ニ、硫酸ト過酸酸化滿俺ノ配伍ヲ蒸
餾シテ得○蒲羅密烏母ハ、爾他水素ト親和シテ、
蒲羅密烏母水素酸蒲羅喜トナリ、窒素ト和シテ、
蒲羅密烏母窒素トナル、

効用

太夕高價ノ者ナルガユヘ、採用スルヲ稀ナ
リ、少シク撮影術ニ用ヒ、又蒲羅母劑篤叟母トナシ
テ、醫藥ニ供ス、

沃陳第二十章

〔沃〕親衡 異重 四、九四

沃陳ハ所在ニ産スト雖、其量太夕少ナシ、而シテ天然純粹ノ者ナシ、多クハ格羅耳ニ誘ワレ産ス、格羅耳及ビ蒲羅密烏母ノ如ク、麻屈涅叟母、曹曹母ニ和シ、海草、海棉、軟性獸、海植物ノ灰中ニ含ミ、山物ニハ沃陳銀トナリ、又鑛水ニ含メリ、又諸水中ニ少許ヲ含ム、是ニ因ツテ尋常ノ水植及ビ水中ノ魚類ヲ灰トナシ、沃陳ヲ得タリト云ヘリ、然レ氏太夕少許ナリ、又石炭等ニ少許ヲ含○又空濛ノ大氣中、及ビ雨露ニ含メリト、巴列察府ノ經驗ニ據レバ、四千里的

取私十瓦ノ大氣中ニハ、五千密而里瓦蘭麻瓦蘭麻ノ千分
一ヲ含ミ、十里的耳私ノ雨水ハ、五密而里瓦蘭麻
ノ一ヨリ二分一ヲ含メリト云、

稟性

質固ク片々葉狀ヲナシ、青黒色金屬ノ光暉アリ、普通ノ者ハ、鱗屑結晶様ノ者ナリ、温ル寸ハ莖花色ノ畑トナル、有機性體ヲ竄蝕シテ皮膚ニ茶黄色ノ汚痕ヲ殘ス、水ニ溶解スルヲ七千分一、亜爾固耳及ビ依的耳ニ能ク溶解ス、而シテ溶解材ノ最良タル者ハ、格魯ヤ福耳密及ビ硫化炭素トス、百七度ニ溶解シ、百七十五度ニ沸騰ス、黒色暗明ノ畑ヲ發

ス、大氣ヲ導ク寸ハ、堇花色トナル、平時ノ暖度ニ於
 テモ、固封セザレバ蒸發ス、臭氣格羅耳ニ異ナラス、
 味苛烈溢發ス、

製煉

沃陳含有ノ鑛水、或ハ華列機曹達（按）海植ヲ
 灰汁塩ノノ母涵ヨリ得、其法蒲羅密烏母ト同轍ニ
 シテ、只所業ヲ終ルノ前、過酸々化満掩ヲ加ルノ差
 アルノミ、斯ノ如クナサハ、ル寸ハ、格羅耳ノ發綻ス
 ル患アリ、○又法、舍密局ニ於テハ、通常華列機曹達
 ノ母涵ヲ蒸發乾燥シ、是ニ過酸々化満掩ヲ加ヘテ
 熾紅シ、以テ硫（ス）化金属ヲ硫酸塩ニ變ゼシメ、其后此

塊ヲ水ニ溶シテ濾過シ、此液ニ格羅耳瓦斯ヲ通ズ
 レバ沃陳沈降ス、

効用

撮影術ニニ採用ス、酒精ニ溶シテ沃陳（ヨ）丁（キ）

トナシ、剥篤亞斯及ビ他ノ金属ニ和シ、醫藥ノ緊要
 材トス、沃陳塩類中

酸化経階

沃五	沃四	沃三	沃二	沃一
阿十六	阿五	阿四	阿七	阿七
未詳	次酸化沃陳酸	沃陳酸	過酸沃陳酸	過酸沃陳酸

弗律阿留母第廿一章 親衛 二一九 異重 二一六、二九

此原素ハ近世迄、明亮分離スルヲ能ハザリシ、是故ニ普通識ルトコロノ者ハ親和物ナリ、然レモ軌近弗耳乙蘇把多ヲ、格羅耳瓦斯ト共ニ一器ニ容レ、初メテ水分ナキ、弗律阿耳金屬ヲ分離シテ、此原素ヲ鑑察セリ、

稟性 無色ノ瓦斯ナリ、植物ノ色ヲ消褪セズ、玻璃ヲ腐蝕セズ、尋常ノ暖度ニ於テ、良ク水ヲ分離ス、又金、白金ヲ除キテ諸金屬ト親和ス○弗律阿留母ハ、天然特生ノ者ナシ、加爾叟母ト和シテ生ス、是ヲ弗

耳乙蘇把多、一名弗律阿耳加爾叟母、弗加爾ト云、亞律密紐母、磬土ト和シテ、篤把蘇、亞律密紐母、悉里叟、ルトナル、此他、燐酸ト和シテ塩類トナリ、且ツ亞把、窒多、加爾叟母及ヒ、綠鉛鑛トナリ産ス○動物體ニ於テハ骨ニ含ミ、且ツ齒ノ「エマイル」未中ニ含ム○此原素ハ絶テ酸素ニ酸化セザル者ナリ、

弗耳乙蘇把多酸、稟性及ヒ製法 一名弗律阿耳

水素酸、弗喜ト云、尋常ノ暖度ニ流動ス、色ナシ、靱佞母斯ヲ紅變ス、臭氣太ク竄透ニシテ腐蝕ノ味アリ、動物ノ皮膚ニ觸レバ、焮痛耐ヘガタク、終ニ

不治ノ潰瘍トナル、大氣内。白烟トナリ飛散ス、諸
金属ト親和スレ、金及ビ白金ハ全ク腐蝕スル
ニ至ラズ、鉛ハ是ニ亞ク○又玻璃ヲ腐蝕シ、幾設
兒弗耳乙蘇把多^ル酸^{トナル}○製法、弗耳乙蘇把多
舍密開宗曰、漢渡ノ紫石英ニ、醇厚硫酸ヲ注キテ
邦産ノ螢石。螢砂此ニ属ス、^温ヲ加ヘ、出ルトコロノ瓦斯體ヲ貯フ、此蒸餾罐
ハ白金^{プラチナ}或ハ鉛ヲ以テ製ス○硫酸ノ水分分離サ
レ、其水素。弗耳乙蘇把多人、弗律阿留母ト和シテ、
弗律阿耳水素酸トナリ、其酸素ハ加爾叟母ト和
シテ加爾基トナリ、而シテ硫酸ハ其加爾基ニ和

シテ、硫酸加爾基トナル○受器ニ少許ノ水ヲ填
テ、水中ニ受ク、水分ナキ酸ハ、決テ採用スルヲ能
ハサレハナリ、此酸ヲ貯ルニハ、鉛或ハ白金ノ壘
ニ入レ置ク、

弗耳乙酸効用

此酸ハ珪土ヲ溶スノ性アルニ
ヨリ、^ア亜^ナ那^イ列^イ設^セ舍^セ密^セ分^分解^解舍^舍ノ^ノ技^技群^群材^材トス、又玻璃
ヲ腐蝕セシメテ物象ヲ画ク、先ツ玻璃板ニ蠟或
ハ^至仮^至漆^至ヲ^至塗^至リ、其后物象ノ筆痕ヲナシ、此板ヲ鉢
上ニ蔽フ、爰ニ於テ弗耳乙酸ヲ送入スル寸ハ、一
二小時ノ后、其筆痕ヲ蝕ス^按彦^彦嘗^嘗テ、^タ人^人家^家ヲ^避避

各書目以括

第廿一圖



シ、後之ヲ冷定ス、蓋ヲ穿テ製シ、器内ニ漫添シ、蠟ノ香、アス、ハ、ル、ノ、和、劑、ヲ、塗、リ、預、メ、酒、壺、等、ヲ、ナ、シ、置、キ、而、シ、テ、此、孔、ニ、密、合、セ、シ、物、象、ノ、一、筆、痕、ヲ、注、シ、置、キ、テ、研、ル、注、ク、直、ニ、閉、テ、暫、時、注、シ、置、キ、テ、見、ル、五、六、分、時、ニ、テ、忽、チ、筆、痕、ヲ、見、ル、ハ、此、石、英、ノ、細、末、セ、ル、者、

磷第二十二章

ポスポリユス

〔波〕 親。衡。|| || 二三

一八二六一一八四

是レ又一種ノ原素ニシテ、其質、硫黄及ヒ砒ニ類ス、

天然特生ノ者ナシ、通例酸素ト親和シテ磷酸トナリ、山物内ニ混シ産ス、譬ヘハ亜把室多ノ成分ハ、磷酸加爾基、格羅耳加爾叟母、及ビ弗律阿耳加爾叟母、綠鉛鑛ノ成分ハ、磷酸々化鉛、格羅耳鉛、及ビ弗律阿耳鉛、衣爾律多ノ成分ハ、磷酸礬土、及ビ弗律阿耳垂律密紐母ニシテ、其他種々ノ鐵鑛ニ含有ス、○又磷酸ハ植物動物ニ多ク含メリ、就裡骨ノ成分ヲナス、○有機性體珠ニ磷ヲ含メル者ハ、蛋白質及ヒ腦脂ニアリ、

稟性

固形ヲナシテ透亮、製煉ノ始メハ暫時無色、

各書目以括

卷二

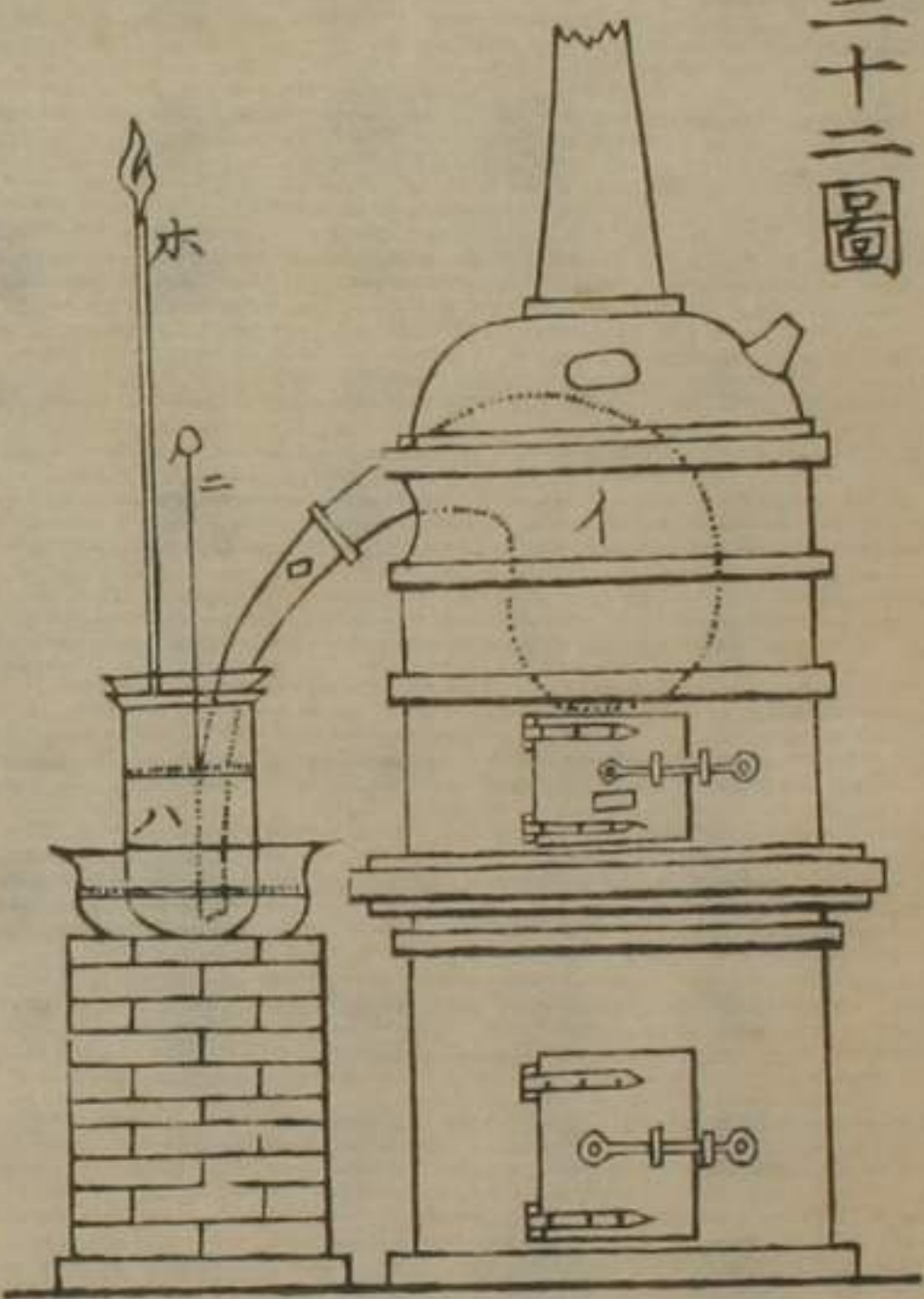
尋常ノ暖度ニテハ、撓曲缺切スベシ、蒜臭アリ、四十度ニ溶解シ、二百九十度ニ沸滓ス、大氣ニ觸レテ自ラ燃ヘ、白色ノ烟ヲ發ス、又摩擦ニヨツテ燃ユ○水ニ溶解セザレ氏、依的耳。脂質油。硫化格羅耳、及ヒ硫化炭素中ニ能ク溶解ス、

製煉

獸骨ヲ燒キ白骨トナシテ研末シ、水ヲ以テ稀粥ノ如クナス、而シテ大率此量三分二ノ醇厚硫酸ヲ注キ、二十四小時一小時ハ本邦ノ半時洎トナシ、棉布ヲ以テ徐々ニ漉過シ、終ニ絞搾シテ硫酸加爾基ヲ布上ニ止ム、此後漉過セル澄液ヲ煮

テ蒸發シ、蜜ノ如ク濃稠ナラシム○爰ニ於テ、此量四分一ノ粉末木炭ヲ混和シ、是ヲ能ク乾燥ス、其後列篤爾多ニ容レ、第二十二、二十三圖ノ裝置ヲナシ熾紅ス、**ハ**ハ受器ニシテ水ヲ填テ、此内ニ燐ヲ滴瀝セシム、蓋ヲナシテ是レニ小孔ヲ穿テ、鐵竿ニヲ貫キ、以テ燐ノ頸口ニ固着スルヲ落ス、**ホ**ハ受器内ノ水ニ達セズ、圖ノ如ク玻璃管ヲ貫キ筆立ス、是レ所業ノ際出ルトコロノ瓦斯類ヲシテ、大氣内ニ消散セシムルタメナリ、此瓦斯操作ノ最終、自ラ炎ヲ引テ燃ユ、

第二十二圖



親和ノ景况左ノ如シ

酸性燐酸加爾基

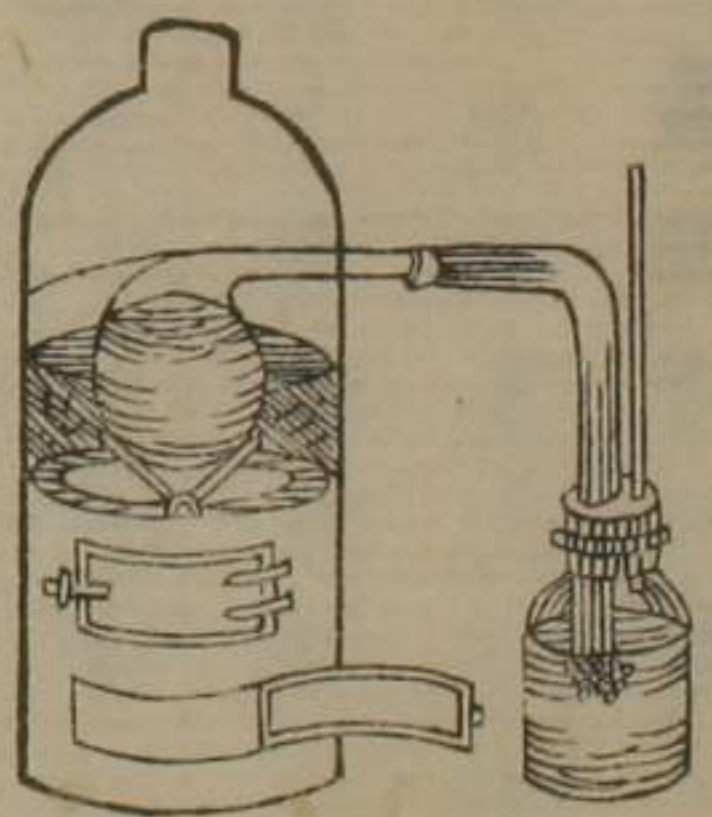
中和燐酸加爾基

燐酸

燐酸素

酸化炭素瓦斯

第二十三圖



木炭

右ノ操作ハ十五小時間ヨリ、二十小時間行フ、益火
度ヲ強フスベシ。○通例。白骨十八分ヨリ生燐二分
ヲ得

又法

骨炭

黒焼タル骨

ニ

木炭

及ビ

六方石

珪土ヨリ

ヲ

配伍シ、同上ノ装置ヲ以テ熾ス。○六方石ノ成分

ハ珪酸ナリ、故ニ骨ノ加爾基ト和シテ、珪酸加爾基

トナリ、骨中ノ燐酸游離ス、此酸ハ復タ木炭ニ酸素

ヲ奪ワレテ燐トナリ受器ニ出ツ、

〔波阿五三加爾阿〕十五加勃十六悉阿三三加爾阿

二悉阿三十五加勃阿十波

此法ヲ以テ、製煉シタル燐ハ不精ナリ、宜シク微温
 ヲ加ヘ、水中ニテ溶解セシメ、革ヲ以テ絞リ、而シテ
 管模ニ鑄流ス○都テ燐ハ壘ニ蒸餾水ヲ充填シ、此
 内ニ容レテ暗所ニ貯ス

發燭奴

常用發燭奴	今急發セザル者
格羅耳酸劑篤亞斯	二精製消石
燐	四燐
亞刺比亞護謨	七粘質劑
	六

粘質劑	類膠ノ	二丹	三
藍又丹	少許	スマルト	二

先ツ護謨或ハ粘質材ヲ少許ノ水ニ溶シ、濃稠ノ
 液トナス、是ヲ温メ、顔料ヲ加ヘテ攪和シ、此後小
 片ノ燐ヲ加フ○此液ヲ六十度迄温メ、細心攪擾
 シ、粗片ノ燐、肉眼ヲ以テ見ルベカラザルニ至ル
 ヲ俟ツ、爰ニ於テ消石或ハ格羅耳酸劑篤亞斯ノ
 細末、預メ粘液ヲ以テ濕シタル者ヲ加フ、其後第
 二十四圖イノ處ヘ硫黃ヲ塗タル燭奴ヲトリ、其
 尖点イヲ燐材中ニ浸シテ固着セシメ、暖箱ニ容

レ乾ス、口ハ綿糸ニ白蠟ヲ交ヘ製セル者、或ハ木ヲ以テス、

按依的耳半羅度ニ、燐一片ヲ共ニ壘ニ容レ、一日放定シ、時々策動スル寸ハ、其燐全ク溶解ス、暗夜毛筆ヲ以テ書記スレバ、暫アツテ燃ユ奇觀ナリ、

第二十四圖



酸化經階	
波ニ阿酸化燐	波阿三亞燐酸
波阿次亞燐酸	波阿五燐酸

酸化燐

黄色。臭。味共ニナシ、粉様ノ者ナリ、燐ヲ

大氣内ニ焚烧スル寸ハ、此者ヲ殘痕ス、

次亞燐酸

燐水素瓦斯、及ビ燐酸ノ内ニテ、燐

ヲ焚烧シ得ル者ナリ、太夕酸味アル派動物ナリ、

水ニ溶ケ易シ、塩基ト和シテ、亞燐酸トナル、

亞燐酸

大氣ノ普ク通ゼザルトコロニ於テ、燐

ヲ焚烧スル寸ハ、此酸ヲ得、水分ヲ含メル者。否ラ

ザル者アリ、

燐酸

此酸ハ塩基ト親和シ普ク産ス、又動植ニ

抱合ス、獸骨ノ如キハ燐酸加爾基ナリ、○含水ノ

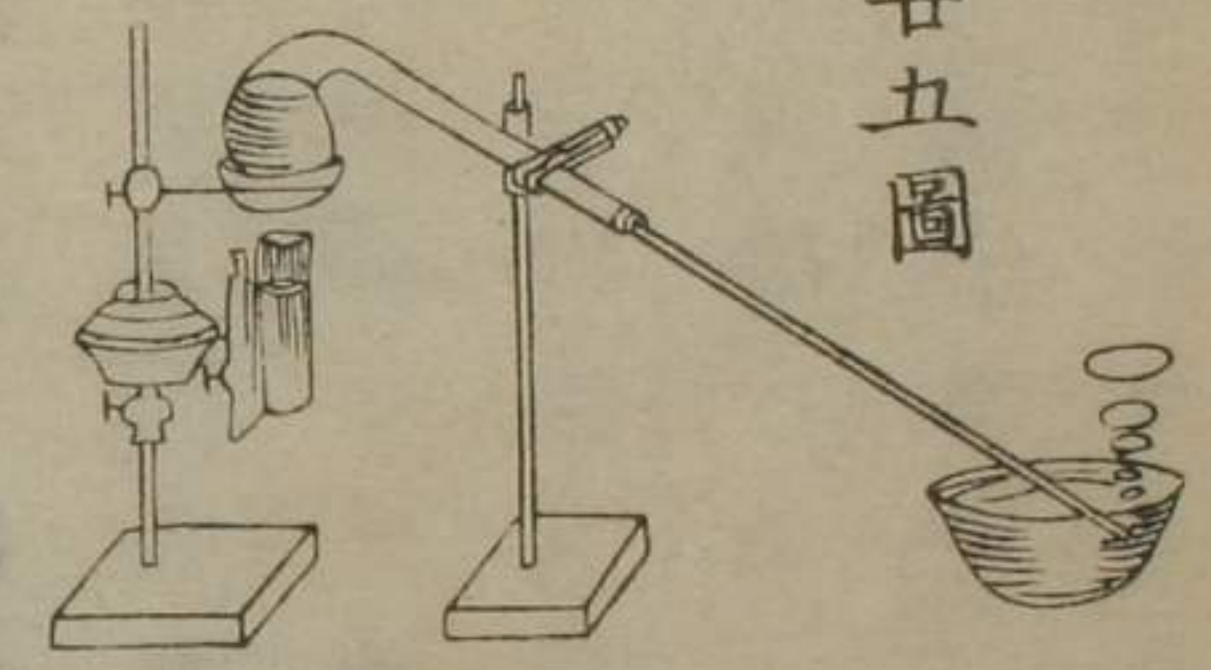
者三種アリ、其一〔一波阿五〕一喜阿、其二〔一波阿五〕二喜阿、其三〔一波阿五〕三喜阿。○尋常ノ磷酸種ノ三者ハ其製法左ノ如シ、
磷ヲ消酸ニ溶シテ、其液ノ水氣ヲ蒸散シ、是ヲ水中ニ溶シ、或ハ獸骨ヘ硫酸ヲ注キテ分離シ、此酸性液ヲ義布ゴブス斯ス爾ニ基キ加カヨリ分ワテ、而シテ尚ナ又硫酸ヲ加ヘ、義布斯ノ既ニ沈澱セザルヲ俟ツ、過度ナル硫酸ハ此液ヲ熬稠シ、終ニ熾紅シテ消散セシム。○曹達ト親和セシメテ醫藥ニ用ヒ、且種々ノ製煉ニ供ス、又動植ノ須要タル成分ヲナス、殊ニ

穀類ハ多分ノ磷酸ヲ含メルガエ、人民是ヲ食シテ大ニ養トナル、

磷水素 此者三種アリ、其一〔波喜三〕其二〔波喜二〕

其三〔波二喜〕此篇載スルトコロノ者ハ〔波喜三〕ヲ以テス。○瓦斯躰ノ者ナリ、酸性ニ溶解セル、金銀ヲ沈澱シテ還元セシム。○大氣内、自ラ焚燒ス、然レモ他法ヲ以テ製スル寸ハ否ラス、的テ那ナ兒ル獨ド人ノ名曰、此酸ハ自ラ焚燒スル者ニ非ズ、蓋シ少許ノ磷水素、波喜三ヲ含メル者ナリ。○自焚ノ瓦斯製法、磷ヲ加爾基、或ハ刺篤亞斯及ビ水ニ和シテ沸滓

第廿五圖



スル寸ハ、此瓦斯ヲ發散シ、列篤爾多内ニ次亜燐酸ヲ殘ス、第二十五圖ニ參考スベシ。○所謂鬼火野燈ハ、動物植物ノ腐敗セル地ヨリ出ツ、即チ此類ナリ、而シテ天然鬼火野燈ノ生スル原因ノ理ハ、未夕詳ニ考究スルヲ能ハス、

亞爾攝尼究母アールセニキウモ第二十三章ア攝親衡七五異重五七

舍密開宗曰、俗名岩見銀山鼠取藥、

亞爾攝尼究母アールセニキウモハ、天然純粹ニ産スル者アリ、多クハ

礞黃及ビ他ノ金屬硫化金屬ト交レリ○輓近ノ經
驗ニ據ルニ、九アヒキ砒アヒキハ植物ノ普ク成分ヲナス者ト見
ユ、故ニ諸樹木大率砒ヲ含マザルハナシ○天生他
物ト親和スル砒、其標目ヲ下ス、左ノ如シ、蘇布私
箇コ拔バル爾トル多ト亞ア攝セ箇コ薄紅鑛ア攝須三十三亞健須把爾
瑪マ箇コ里リ篤ト亞ア攝セ阿ア五五二二加カ爾ル阿ア十六喜阿ア十六喜阿蒜石亞ア攝セ阿ア
五五勿フ二二阿ア三三十四喜阿ア十四喜阿綠鉛鑛及及ビビ亞ア把バ窒チ多ト三三亞ア攝セ
阿ア五五三三巴バ曹曹阿ア十十巴バ曹曹格格羅羅箇コ拔バル爾トル多ト華ワ亞ア攝セ阿ア五五三三
箇コ阿ア十十八喜阿ア十ハ喜阿左左結ケ爾ル黃鑛ア攝阿五三箇コ精精阿ア十十八喜阿ア十ハ喜阿
箇コ多ト知チ義ギ多ト亞ア攝セ阿ア五五三三箇コ精精阿ア十十八喜阿ア十ハ喜阿

稟性 定弗涅耳名曰此原素ハ金屬ノ光暉アルガ
 ヲ、近世是ヲ金屬ノ部ニ收擧セリ、然レ其他ノ稟
 性ヲ以テ考究スルニ、其性大率窒素及ヒ磷ト彷彿
 タリ、且ツ酸化シテ塩基トナラズ、却テ酸性トナル
 ガユヘ、余ハ是ヲ非金屬ニ收擧ス○剛ニシテ結晶物
 ノ如ク鋼スチール白色光暉アリ、然レ大氣ニ接スレバ、速ニ
 酸化シテ澤色ヲ失フ、其酸化面ハ、格羅耳水ヲ以テ
 能ク刈除スベシ、金光アル砒ト雖、次亞格羅耳酸曹
 達中ニ貯ン₁ヲ要ス、○冷處ニ在₁テハ臭氣ナシ、灼
 紅スル寸ハ大蒜臭アリ、密閉セル器内ニ於テハ、百

八十度ニ烟ヲ發シ、大率七百度ニ昇華ス、酸素瓦斯
 内ニ燦火スル寸ハ、青色ノ炎ヲ引テ蒸ヘ亞砒酸ト
 ナル、又硫酸ヲ注₁ハ亞砒酸トナリ、消酸ヲ注₁ハ砒酸
 トナル○砒純粹ナル者ハ毒ニ非ズ、其既ニ酸化ス
 ル者初テ毒ヲナス、

製煉 亞砒酸或ハ白砒色ノ者ニ、炭ヲ加ヘ燒テ
 還元セシム、此時酸化炭素ハ瓦斯トナツテ飛散シ、
 砒ハ昇華ス其理尤ノ如シ、

亞攝阿三十三加勃 || 三加勃阿十亞攝
 製煉局ニ於テハ、亞爾攝尼究母ヲ採用スル₁稀ナ

リ、纒ニ小霰彈及ビ白色炎ヲナスニ供ス、

酸化經階 三種共至毒

亜攝阿五	次酸化砒
砒酸	砒酸

次酸化砒 黑色ノ粉ナリ、砒ヲ粉末シテ、温氣鐘内ニ容レ、時々新鮮ノ大氣ヲ通スル寸ハ、此者ニ成ル、

亜砒酸 天然稀ニ砒華トナリ産ス、獵殺鼠藥。或ハ砒毒粉ノ名アリ、能水ニ溶解ス○大量ニ製ス

ル寸ハ、砒ヲ含メル鑽石ヨリ製ス、是ガタメニ炎竈ノ形ニ、一種ノ竈固着室一名毒室ヲ具フル者ヲ築キ、此内ニ灼炬スル寸ハ、其室ニ亜砒酸白粉トナリ固着ス、又屢、玻璃様ニ流動ス○顔料製煉、柳華布及ビ玻璃局ニ採用シ、又害獸ヲ毒シ、或ハ麻酔トシテ、醫藥ニ用ルアリ、

砒酸 天然加爾基ト和シテ産ス、是ヲ把爾瑪固里多ト云、亜酸化箇拔爾多ニ和ス者、是ヲ箇拔爾多華ト云、亜酸化暱結爾ニ和ス者ヲ、暱結爾窩結耳ト云○白色竄透ノ性アリ、勒佉母斯ヲ紅色ニ

變ス、大氣ニ觸レテ容易ク流動ス、故ニ水ニ溶解
シ易シ、一度ビ燒キタル后ハ、水ニ溶ケズ○製煉
粉ホセル砒礦一分ヲ、醇厚消酸四分、及ビ塩酸二
分ニ和シ温ム、溶液ヲ熬稠シテ蜜ノ如クシ、磁鉢
ニ容レ充分ニ乾ス○効用砒塩トナシ柳華布ニ
採用ス、

爾他砒ハ砒黃ト親和スルヲ五種、今其主要ナル
者三種ヲ贅ス、又能、水素亞爾加里ニ和ス、

麗綠色ノ顔料ヲ得
按 白砒ヲ加里液ニ溶シテ、硫酸銅液ニ和シ、鮮

紅寶石砒

紅寶石砒 亞攝須二ハ紅色ニシテ、臭

味共ニナシ、能、玻璃ニ類ス、又結晶スル者アリ、大
氣内ニ燦火スル寸ハ、焚燒シテ亞硫酸及ビ亞砒
酸トナル○製煉砒、砒黃各、等分之ヲ共ニ熔化ス、
透瑩紅寶色アリ○又法砒、砒黃ヲ共ニ昇華ス、此
法ヲ以テ得ル者ハ、多量ノ亞砒酸ヲ交ユ○火具
局白色炎ヲナスニ此劑ヲ用ユ、其配合二分ノ紅
寶石砒、七分ノ砒黃華、二十四分ノ硝石、又顔料ニ
用テ太夕美ナリ、

石黃

石黃 亞攝須三ハ成分亞砒酸ト同

シ、剛シテ緑黄色、臭味共ニナシ、多ク天然特生ス
○製煉亜砒酸ヲ塩酸ニ溶解シ、此裡ニ硫化水素
瓦斯ヲ送ル寸ハ沈降ス、

〔亞攝須三〕 那須十須阿三喜阿 || 須喜十那阿須
羅喜十三喜阿

○又法大量ニ製スル寸ハ、亜砒酸ニ炭酸曹達及
ビ硫黄ヲ加ヘテ、灼缸スル寸ハ、即ニホソウ硫化塩トナル
之ヲ硫酸或ハ塩酸ニ溶解スル寸ハ、石黄游離シ
テ沈降ス
〔亞攝須三〕 那須十須阿三喜阿 || 須喜十那阿須

阿三 十 亞攝須三

此者多ハ顔料ニ採用ス、

〔砒化百而須筆度〕 此者〔亞攝須五〕淡黄色。溶化ス

ベシ、冷定ノ後ハ黄赤色トナル ○製法砒酸ヲ塩
酸ニ溶解シテ沸滓シ、是ニ硫化水素瓦斯ヲ通過
シテ沈塗ヲ得

〔勃留母第二十四章〕 〔勃親衡〕 || 一、九
異重 || 二

勃留母ハ砒酸ノ原素ニシテ、勃留母ノ名モ是ヨリ
出ヅ、千八百七年達喜氏、千八百九年ガイリス律薩古氏、及
ビテナル的那兒度氏、ド瓶テボット刺篤亞叟母ヲ以テ、砒酸ヲ分析

シ發明シタル者ナリ、而シテ硼酸ハ山物ノ如ク、火
 山ノ洞穴ヨリ出テ、或ハ多ト私カ年地ノ火山ノ湖水
 中ニ溶解シ、且又塩基ニ和シテ、朴硼砂、硼酸、苦土、達
 多ト里多ト硼酸、珪酸、石灰及等ノ成分ヲナス、
 稟性 暗淡色粉様ニシテ、臭味共ニナシ、水ニ溶テ、
 熔化セズ、酸素内ニ焚焼スル寸ハ、酸化シテ硼酸ト
 ナル、又硝酸ニ因ッテモ硼酸ニ變ス、
 製煉 硼酸ニ剥篤叟母ヲ和シ分析ス、**勃阿三十三**
 加**||**勃**十三**加**阿**○酸化經階ハ、從來識ルトコロノ
 者、僅ニ硼酸ノニナリ○此他弗律阿耳、格羅耳及ビ

窒素ト親和ス、

硼酸

硼砂、蓬酸 一分ヲ熱湯四分ニ溶シ、是ニ三
 分一ノ硫酸、且ツ二分一ノ塩酸ヲ加フ、爰ニ於テ
 硫酸曹達及ビ格羅耳曹曹母トナリ、硼酸游離シ
 テ結晶ス○効用醫藥溶化劑、及ヒ玻璃工ニ採用
 ス○又塩基ト和シテ、硼酸塩トナル、**抄譯**
 ナリ中篇ニ

舍密局必携卷二 前篇終

第一回 王三官巧娶蔡狀元
 第二回 蔡狀元大鬧閻羅殿
 第三回 蔡狀元怒打淫僧
 第四回 蔡狀元怒打淫僧
 第五回 蔡狀元怒打淫僧
 第六回 蔡狀元怒打淫僧
 第七回 蔡狀元怒打淫僧
 第八回 蔡狀元怒打淫僧
 第九回 蔡狀元怒打淫僧
 第十回 蔡狀元怒打淫僧
 第十一回 蔡狀元怒打淫僧
 第十二回 蔡狀元怒打淫僧
 第十三回 蔡狀元怒打淫僧
 第十四回 蔡狀元怒打淫僧
 第十五回 蔡狀元怒打淫僧
 第十六回 蔡狀元怒打淫僧
 第十七回 蔡狀元怒打淫僧
 第十八回 蔡狀元怒打淫僧
 第十九回 蔡狀元怒打淫僧
 第二十回 蔡狀元怒打淫僧
 第二十一回 蔡狀元怒打淫僧
 第二十二回 蔡狀元怒打淫僧
 第二十三回 蔡狀元怒打淫僧
 第二十四回 蔡狀元怒打淫僧
 第二十五回 蔡狀元怒打淫僧
 第二十六回 蔡狀元怒打淫僧
 第二十七回 蔡狀元怒打淫僧
 第二十八回 蔡狀元怒打淫僧
 第二十九回 蔡狀元怒打淫僧
 第三十回 蔡狀元怒打淫僧
 第三十一回 蔡狀元怒打淫僧
 第三十二回 蔡狀元怒打淫僧
 第三十三回 蔡狀元怒打淫僧
 第三十四回 蔡狀元怒打淫僧
 第三十五回 蔡狀元怒打淫僧
 第三十六回 蔡狀元怒打淫僧
 第三十七回 蔡狀元怒打淫僧
 第三十八回 蔡狀元怒打淫僧
 第三十九回 蔡狀元怒打淫僧
 第四十回 蔡狀元怒打淫僧
 第四十一回 蔡狀元怒打淫僧
 第四十二回 蔡狀元怒打淫僧
 第四十三回 蔡狀元怒打淫僧
 第四十四回 蔡狀元怒打淫僧
 第四十五回 蔡狀元怒打淫僧
 第四十六回 蔡狀元怒打淫僧
 第四十七回 蔡狀元怒打淫僧
 第四十八回 蔡狀元怒打淫僧
 第四十九回 蔡狀元怒打淫僧
 第五十回 蔡狀元怒打淫僧
 第五十一回 蔡狀元怒打淫僧
 第五十二回 蔡狀元怒打淫僧
 第五十三回 蔡狀元怒打淫僧
 第五十四回 蔡狀元怒打淫僧
 第五十五回 蔡狀元怒打淫僧
 第五十六回 蔡狀元怒打淫僧
 第五十七回 蔡狀元怒打淫僧
 第五十八回 蔡狀元怒打淫僧
 第五十九回 蔡狀元怒打淫僧
 第六十回 蔡狀元怒打淫僧
 第六十一回 蔡狀元怒打淫僧
 第六十二回 蔡狀元怒打淫僧
 第六十三回 蔡狀元怒打淫僧
 第六十四回 蔡狀元怒打淫僧
 第六十五回 蔡狀元怒打淫僧
 第六十六回 蔡狀元怒打淫僧
 第六十七回 蔡狀元怒打淫僧
 第六十八回 蔡狀元怒打淫僧
 第六十九回 蔡狀元怒打淫僧
 第七十回 蔡狀元怒打淫僧
 第七十一回 蔡狀元怒打淫僧
 第七十二回 蔡狀元怒打淫僧
 第七十三回 蔡狀元怒打淫僧
 第七十四回 蔡狀元怒打淫僧
 第七十五回 蔡狀元怒打淫僧
 第七十六回 蔡狀元怒打淫僧
 第七十七回 蔡狀元怒打淫僧
 第七十八回 蔡狀元怒打淫僧
 第七十九回 蔡狀元怒打淫僧
 第八十回 蔡狀元怒打淫僧
 第八十一回 蔡狀元怒打淫僧
 第八十二回 蔡狀元怒打淫僧
 第八十三回 蔡狀元怒打淫僧
 第八十四回 蔡狀元怒打淫僧
 第八十五回 蔡狀元怒打淫僧
 第八十六回 蔡狀元怒打淫僧
 第八十七回 蔡狀元怒打淫僧
 第八十八回 蔡狀元怒打淫僧
 第八十九回 蔡狀元怒打淫僧
 第九十回 蔡狀元怒打淫僧
 第九十一回 蔡狀元怒打淫僧
 第九十二回 蔡狀元怒打淫僧
 第九十三回 蔡狀元怒打淫僧
 第九十四回 蔡狀元怒打淫僧
 第九十五回 蔡狀元怒打淫僧
 第九十六回 蔡狀元怒打淫僧
 第九十七回 蔡狀元怒打淫僧
 第九十八回 蔡狀元怒打淫僧
 第九十九回 蔡狀元怒打淫僧
 第一百回 蔡狀元怒打淫僧

